

2010年度（32期） 事業報告書

自：2010年9月 1日

至：2011年3月31日



公益財団法人 関西盲導犬協会

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

2010年度事業報告書

(2010年9月1日－2011年3月31日)

1. 公益事業部門

1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

(1) 盲導犬の貸与

①盲導犬貸与ならびに共同訓練

a. 盲導犬貸与数（実働盲導犬数）

2011年3月末現在、実働盲導犬数88頭（ユーザー数90人）であった。

b. 共同訓練

2011年3月末現在、13人の視覚障がい者に共同訓練を実施し、13頭の盲導犬貸与を行った。詳細は次のとおりであった。

使用者証 NO.	性別	都道府県	犬名	犬種	性別	貸与日	新/代
7310	女	大阪府	セレーヌ	ラブラドル	メス	2010/11/04	新規
7311	女	奈良県	レックス	ラブラドル	オス	2010/11/04	新規
7312	男	大阪府	クラッセ	ラブラドル	オス	2010/12/02	新規
7313	女	埼玉県	アンバー	ラブラドル	オス	2010/12/17	代替
7314	男	兵庫県	タッチ	ラブラドル	オス	2010/12/17	代替
7315	男	広島県	ナセル	ラブラドル	オス	2011/1/28	代替
7316	女	広島県	シリウス	ラブラドル	オス	2011/1/28	代替
7317	男	京都府	テリー	ラブラドル	オス	2011/1/29	代替
7318	男	高知県	ワンダ	ラブラドル	メス	2011/2/25	新規
7319	女	兵庫県	ウリエル	ラブラドル	オス	2011/3/8	新規
7320	女	千葉県	ウルマ	ラブラドル	メス	2011/3/18	代替
7321	男	広島県	テス	ラブラドル	メス	2011/3/25	代替
7322	男	大阪府	テトラ	ラブラドル	オス	2011/3/26	代替

②公正な盲導犬貸与の実施

盲導犬貸与規程ならびに盲導犬貸与委員会規程に基づく公正な盲導犬貸与を実施することを目的に、盲導犬貸与委員会を開催し、盲導犬貸与申込者の選定ならびに共同訓練に関する各事項の手続きの確認を行った。

盲導犬貸与委員会の開催日

- 第1回 2010年 9月 4日
- 第2回 2010年10月 9日
- 第3回 2010年11月 6日
- 第4回 2010年12月 4日
- 第5回 2011年 1月 8日
- 第6回 2011年 2月12日
- 第7回 2011年 3月12日

③盲導犬貸与希望者への対応

申込済みの盲導犬貸与希望者と定期的にコンタクトを取り、現状把握と情報提供に努めた。また視覚障がい者個人ならびに団体等に対して体験歩行会を催し、盲導犬の新規貸与希望者の開拓を例年どおり実施した。

(2) 盲導犬ユーザーへのフォローアップ

①盲導犬ユーザーに対するフォローアップ

2011年3月末までのフォローアップ実施件数は99件であり、盲導犬ユーザーが安全で快適な盲導犬歩行ならびに生活が継続できるよう、盲導犬ユーザーの自宅訪問を中心としたフォローアップを実施した。その内訳は、次のとおりであった。

- ・定期フォローアップ（22件）
- ・ファミリアリゼーション（13件）
- ・共同訓練後のフォローアップ（17件）
- ・犬の健康管理のためのフォローアップ（12件）
- ・犬の問題行動のためのフォローアップ（5件）
- ・その他のフォローアップ（30件）

②フォローアップ実施プログラムの作成

フォローアップ実施の効率化を図るために、実施プログラムについて検討した結果、職員配置の関係から、当面は現状の体制（地域別フォローアップ体制）を継続することとした。

③盲導犬ユーザーへの情報提供

盲導犬の健康管理ならびに盲導犬ユーザーの負担軽減を目的に、ドッグフード・犬具・犬用薬品等について、例年どおり情報の提供を実施した。

(3) 盲導犬の育成

①繁殖（盲導犬候補犬の確保）

a. 2011年3月末の繁殖状況は次のとおりであった。

- ・パピーウォーカーに委託したパピー頭数37頭
- ・当協会で生まれたパピー頭数31頭（うち22頭をパピーウォーカーに委託）
- ・他協会から譲り受けたパピー頭数9頭
譲り受け内訳（北海道盲導犬協会2頭／東日本盲導犬協会6頭／中部盲導犬協会1頭）
- ・2011年3月末の繁殖犬総数29頭（内訳 オス15頭／メス14頭）
うち新規繁殖犬登録数3頭（内訳 オス1頭）

b. 繁殖ボランティアに対するセミナーを開催（2011年1月）

c. AGBN(アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク)の実務担当者会議（2回開催）に繁殖担当を派遣した。

d. フィンランド盲導犬協会に繁殖担当職員を派遣するとともに（2010年8月）、凍結精液の交換を行った。

②パピーの育成

a. 2011年3月末のパピーウォーキングの状況は次のとおりであった。

- ・パピーウォーキング中のパピー頭数54頭
- b. 巡回指導およびパピースクール等の状況は次のとおりであった。
 - ・月1回の巡回指導 のべ133件
 - ・パピースクール（14回、のべ155家族参加）

③盲導犬候補犬の訓練

訓練初期の犬に対してクリッカーを使用した訓練手法の導入、パピー引き上げ時期の集約、訓練評価の定期化等、新たな取り組みを実施した。

④訓練体制の整備

パピー引き上げ時期の集約、訓練評価の定期化、キャリアチェンジ犬の譲渡手順の見直し等、効率良く訓練ができる体制を整えた。

⑤データベースの構築

犬ならびに訓練に関する情報管理の効率化を図るために、データベースの再構築を検討したが、費用的ならびに時間的な制約によって外部発注は見合わせることにし、当面は現在のデータベースを改変しながら使用し続けることとした。

(4) リタイア犬のケア

- a. 2011年3月末のリタイア犬の状況は次のとおりであった。
 - ・リタイア犬総数52頭
 - ・今期リタイアした犬数21頭（うち繁殖犬14頭）
 - ・死亡したリタイア犬数4頭
- b. リタイア犬事業資金（リタイア犬に係る指定寄付）の用途について
2011年度3月末までに、リタイア犬のケアとして特定寄附金積立資産（リタイア犬事業資金）から取り崩した額は下記のとおりであった。（合計582,228円）
 - ・リタイア犬のフード代 522,458円
 - ・ワクチン等の医療費 59,770円

(5) ボランティアの募集

繁殖犬・パピー・リタイア犬の飼養をお願いするボランティアならびに盲導犬としない犬（キャリアチェンジ犬）のオーナーを継続的に募集した。

(6) 盲導犬歩行指導員および盲導犬訓練士養成事業

①新しい訓練方法の導入

訓練初期の犬に対してクリッカーを使用した訓練手法を取り入れ、訓練の効率化を図った。

②計画的な養成体制の検討

盲導犬訓練士の資格ならびに盲導犬歩行指導員の資格の早期認定に向けた職員養成プログラムを作成し、その計画に則って養成を実施した結果、NPO法人全国盲導犬施設連合会の訓練士認定試験（2011年2月8日）に職員1名が合格し、訓練士の認定を受けた。

（認定日は2011年4月1日）

③研修

2011年 1月20日 厚生労働省主催「身体障害者補助犬法に係る情報交換会」

(7) 盲導犬の育成に関する調査研究

今期は、公益財団法人の認定を受けた9月からであり、調査研究のための十分な時間をとることが難しいと判断したため、盲導犬の育成に関する調査研究は実施しなかった。

1-2. 相談事業

(1) 盲導犬に関する相談

2011年3月末までに受けた苦情は5件であり、相談は16件であった。苦情に対しては、それぞれに対応し改善を図ったが、盲導犬の虐待についての1件は当協会に該当者がおらず全国盲導犬施設連合会が調査中である。相談に対しては、アレルギーの発症と通行人の暴言、フランスでの施設受け入れの3件について、関係機関と連携のうえ、対応を継続中である。

①苦情内容ならびに件数

- a. 盲導犬ユーザーに対する苦情
 - ・盲導犬の虐待について（3件）
 - ・排泄物の処理について（1件）
- b. 協会支援者に対する苦情

- ・ボランティアの犬の散歩が通行妨害している件について（1件）
- ②相談内容ならびに件数
 - a. 盲導犬ユーザーからの相談
 - ・施設の受け入れについて（8件）
 - ・職場の同僚のアレルギー発症について（1件）
 - ・通行人の暴言について（1件）
 - ・施設見学者が掲載したブログの内容について（1件）
 - ・ボランティアの対応について（1件）
 - b. 事業者からの相談
 - ・市民からの盲導犬ユーザーに対する苦情について（1件）
 - ・施設の受け入れについて（2件）
 - c. 支援者からの相談
 - ・募金活動に盲導犬を同伴することについて（1件）
- ③共同訓練修了者に対する苦情・相談等の受付
 - a. 居室や浴室の寒さ対策についての要望（1件）
 - b. 食事の改善についての要望（1件）
 - c. 協会からの情報提供についての要望（1件）

（2）盲導犬の社会受容を促進するための調査研究

昨年2月にNPO法人全国盲導犬施設連合会を事務局として行った「盲導犬を持たない視覚障がい者を対象にしたアンケート調査」の結果をもとに、甲田菜穂子評議員が日本補助犬学会でポスター発表を行った。

1-3. 啓発普及事業

（1）視覚障がい者に対する啓発普及活動

①視覚障がい者に対する啓発普及活動

- a. 以下の団体からの要請を受けて、盲導犬の体験歩行を行った。
 - 2010年10月 1日 大阪府立視覚支援学校中学部
 - 2010年10月20日 京都ライトハウスあいあい教室
 - 2010年11月22日 和歌山県立盲学校
 - 2010年11月28日 JRPS兵庫県支部
 - 2011年 2月21日 福井県立盲学校中等部
 - 2011年 3月17日 広島市総合リハビリテーションセンター
- b. 機関誌「ハーネス通信」の点字・テープ・電子データ版を発行した。
(2011年10月1日、2011年1月1日発行)

②関係機関ならびに関係団体と連携した啓発普及活動

- a. 京都府身体障害者更生相談所が開催する視覚相談会に職員を派遣し、盲導犬に関する情報提供を行った。
 - 2010年 9月14日 城陽市
 - 2010年11月11日 南丹市
 - 2011年 1月 8日 精華町
 - 2011年 3月 8日 福知山市
- b. 全国盲導犬施設連合会の委託を受け、「盲導犬情報」を編集・発行した。
(2011年3月20日発行)

(2) 一般市民に対する啓発活動

①見学日ならびに講演等による啓発普及活動

盲導犬ならびに視覚障がいについての正しい理解普及のため、啓発活動に取り組んだ。

a. 見学日

盲導犬ユーザー、クイールの会と連携して毎月第三日曜日に開催し、計324名の参加者があった。

b. 講演活動

学校・社会奉仕団体等からの依頼を受け、141件の啓発活動を行った。

(うち、41件は盲導犬ユーザーが講演)

また、26団体が訓練センターを見学した。

②関係機関ならびに関係団体と連携した啓発普及活動

福知山市・高槻市・豊中市で市職員を対象にした研修会、京都ライトハウス職員の見学対応、京都府視覚障害者協会ガイドヘルパー自主講座での講演を行った。

(3) 盲導犬や視覚障がいに関する情報提供

①ホームページや機関誌による情報提供

「ハーネス通信」を2010年10月、2011年1月に発行した(約3,600部)。

また、ホームページの他に、職員ブログ等を活用し協会の活動状況を積極的に発信した。

②関連書籍や関連商品の情報提供

盲導犬や視覚障がいにちなんだ書籍を訓練センター内に展示し、希望する団体・ボランティアに貸し出した。

2. 管理部門

(1) 会員

2011年3月末の総会員数は1403件(2010年8月末1508件)であり、うち新規入会数は71件、退会数は176件であった。各会員の詳細は次のとおりであった。

a. 正会員

会員数1295件(内訳:継続1228件/新規67件)

b. 青少年会員

会員数42件(内訳:継続40件/新規2件)

c. 法人会員

会員数41件(内訳:継続39件/新規2件)

d. 後援会員

会員数25件(内訳:継続25件/新規0件)

(2) 募金箱

2011年3月末の募金箱回収状況は次のとおりであった。

・2011年3月末の設置店舗数1698件(2010年8月末比較79件増)

・回収金額 7,350,706円

(3) 街頭募金

2011年3月末の街頭募金額の内訳は次のとおりであった。

①クイールの会による街頭募金(12回 合計1,979,352円)

②協会職員による街頭募金(34回 合計4,726,327円)

(4) データベースの再構築

会員管理・募金箱管理・寄付者の管理をより確実にするために、データベースの再構築を検討したが、費用的ならびに時間的な制約によって外部発注は見合わせることにし、当面は現

在のデータベースを改変しながら使用し続けることとした。

(5) 募金自動販売機の設置

2011年3月末の設置台数は42台であり、寄付額総計273,755円であった。

協力企業（関西キリンビバレッジサービスグループ・ジャパンビバレッジ・
コカコーラウエスト・他）

3. 施設整備計画

(1) 事業部門ならびに管理部門のデータベース構築（見積額2,143,921円）

費用的ならびに時間的な制約によって外部発注は見合わせることにし、既存のデータベースの改変で対応することとしたため、計画を中止した。

(2) 厨房のシンクとコンロの入れ替え（見積額302,400円）

共同訓練時の食事提供の在り方について再検討する必要性が生じたため、今期の厨房ならびに食堂の部分的な改修を中止した。

4. 犬舎建替え資金の当期積立予定額

2010年度の収支が大幅なマイナス見込みとなったため、2011年2月の理事会において、今期の建物取得資金積立金（5,000,000円）を実施しないこととした。